

ゆかりの寺シリーズ その22

島左近 ゆかりの寺

「立本寺 (日蓮宗)」



島左近は、はじめ筒井家、次に石田三成に仕えた戦国時代の優れた武将。関が原の戦いで討ち死にしたとも、生き延びたとも言われ、立本寺で僧となって潜伏し32年後に亡くなったという。その墓は立本寺の墓所の中に残る。

実のところ島左近の最後については諸説あり、関が原の戦いで討ち死にしたという説(遺体は見つかっていない)、ここ立本寺で僧となり32年後に亡くなったという説(過去帳も残っている)、広島に落ち延びた説、熊本の西岸寺に隠棲した説、など諸説あって、本当のことは分かっていません。

立本寺は、鎌倉時代後期、元亨元(1321)年に道場として開いた妙顕寺龍華院を始まりとし、応永23(1416)年に立本寺と号されました。宝永5(1708)年宝永の大火で焼失してしまいましたが、現在地にて再建されました。

明治維新前は20に及ぶ塔頭を擁し、現在でも4ヶ寺の塔頭が残っており、本堂・刹堂・客殿・鐘楼・山門は京都市より有形文化財に指定されています。



立本寺本堂



「関ヶ原大軍師 島左近之墓」の門



「妙法院殿島左近源友之大神儀」と刻まれた墓



立本寺山門



宿坊・四神閣

講師 中村英龍師

(広島市佐伯区湯来町最広寺)

午前十時	朝席読経
午前十時半	朝席法話
午後一時半	昼席読経
午後二時	昼席法話
午後三時半	法要終了

「孟蘭盆会納骨法要」 (善教寺本堂)  
八月十日(木)

・ 昼食は、仏教婦人会役員さん手作りカレーを頂きます。  
・ 仏さまの話聞き、本堂でゲームをします。  
・ 善教寺仏教婦人会主催



「夏の子ども会」 (善教寺本堂)

七月末に開催予定

「宗祖聖人月忌」  
門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)  
七月 十六日(日) 午後一時半  
\* 毎月十六日に本堂において勤めております。

今後の法要スケジュール